



長崎支部



2015年度支部総会、ならびに 長崎支部へ東京支部から移籍された加納孝代（活水女子大学学長）の歓迎卓話

日時：2015年5月2日（土） 10:30～12:40

支部活動と予算についての前年度の報告と新年度の計画案の審議を含め、5件の議題で総会を終了しました。

後半は、東京支部より長崎支部へ今年度から移籍の加納孝代氏（活水女子大学学長）を支部新メンバーとして歓迎する記念として、ご本人に卓話として「古希を過ぎても、あともう少し」のタイトルで、熱く静かに45分間語っていただきました。最後に提案された、本協会の長崎支部での読書会ないしは勉強会や交流会の開催について、前向きに取り組むことが了承されました。

長崎支部会秋の会（国内奨学生支部選考）、ならびに 東京支部発行「あの頃わたしは」読後感を話し合う会

日時：2015年9月10日（木） 14:00～16:30

2015年度国内奨学生に県内の2大学より応募のあった3名について、書類の点検・確認を行い、全員推薦することを了承しました。その他5件の議題を審議・報告し、特に「留学生との交流会」の開催にあたり概要を確認しました。



支部費で全員購読した、東京支部の戦後70周年特別企画発行『昭和二十年八月十五日 あの頃わたしは一少女たちの戦争証言一』について、出席者10名で読後感を出し合い、現在の私たちの生活や社会情勢にも照らし、それぞれの立場や経験から、当の証言の重さと熱さにも負けず劣らぬ思いが交わされました。

2015年度文化交流委員会との協働事業、 留学生との交流会「子どもたちの今を考える」を開催

日時：2015年11月28（土） 10：30～13:30

長崎支部では、文化交流委員会との協働事業 2015年度留学生交流会を、＜留学生と「子どもたちの今」を考える＞をテーマに、本部より宮下好子文化交流委員長に参加いただき、実施しました。

まだ紅葉が楽しめる長崎で、和華蘭（わからん）料理とも称される長崎卓袱を、お昼用のお膳形式で味わいながら、こちんまりと10名の参加者で密度の濃い交流会を持つことができました。最初に、ゲストの二人の中国出身の留学生：徐丹さん（長崎大学大学院医歯薬総合研究科修士課程保健学専攻）と、尹航さん（長崎大学大学院経済学研究科博士前期課程）に、長崎大学大学院でのそれぞれの研究「幼児虐待」と「ネットによるサービス・イノベーション」について紹介してもらいました。次いで、その話題や留学生と近い専門性や立場の二人の支部会員コメンテーター、中田慶子さん（DV防止ながさき理事長）と中尾理恵子さん（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科准教授）から、何故「虐待」が起り得るのか、また留学生自身の普段の勉学状況について解説・寸評をいただき、続く参加者全員による活発な意見交換を通して、国を問わず経済発展とネットビジネスの背景に在る多くの人間の働きと子どもたちの状態に、心を向ける好機を得ました。会の後、加納孝代支部会員（活水女子大学学長）に留学生と共に、同大学での横山幸雄ピアノコンサートへ招かれ、芸術の秋を堪能することができました。



2015年度支部推薦3名の奨学生との交流会

大学女性協会の大きな活動の一つである奨学金事業は、支部にとって未来を一緒に担う若い女性たちと触れ合える重要な機会です。2015年度は、長崎支部から次の3名の奨学生を推薦することができました。

中村容子さん <一般奨学生>

（長崎国際大学大学院人間社会学研究科地域マネジメント専攻博士後期課程1年生）

出口澯さん <社会福祉奨学生>

(長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科 2 年生)

井野愛理さん <安井医学奨学生>

(長崎大学大学院医歯薬総合研究科医療科学専攻博士課程 3 年生)

3名に揃って出席してもらえる年度末に、支部会員9名との交流会を、以下のように開催することができました。

日時：2016年2月21日(土) 11:30~14:30

会場：ホテルニュー長崎 13F 中国料理「桃林」

交流会では、それぞれの勉学の動機、経験と今後の展望、また困難点などを語ってもらい、支部会員からは素朴な質問や先輩ならではのアドバイスを述べ、大変充実した一時となりました。3名とも、しっかりとした考えを持ち、目的に向けて前向きに励む有望な若い学徒で、会員たちは新鮮な驚きを覚えるとともに励まされる面もありました。

中村さんは、旅行業務取扱管理者の国家資格を持ち、実際にツアーガイドとして多くの人々を日本各地へ案内する経験を通して、「テレビ放送を活用した観光振興に関する研究」をテーマに地域創生に取り組む、楽しく積極的で頼もしい女性でした。

出口さんは、視覚に障害を持ちながらも明朗で真面目に、真に人の気持ちが分かる社会福祉士になるための勉学に励んでいる様子が印象的でした。特に周りの人々の支援を受けながら、視覚補助具の活用に工夫をこらし、健常者に勝るとも劣らない成長を遂げつつあることが確認できました。

井野さんは、高齢者の健康寿命に歯の健康が深く関与していることを出発点に、矯正治療の意義を理解した上で、矯正治療の一問題「歯根吸収」という新たな研究分野に挑んでいます。穏やかで優しい表情と人柄からは想像しがたい熱意が感じられました。また、女性の研究者としての人生設計で解決しなければならない課題に対しても真摯に向き合う姿勢に、支部会員たちから応援メッセージが送られていました。

支部会員たちは、このような若い女性たちをできれば末永く見守り続け、今後の奨学金事業にも力を入れていきたいと、意見を分かち合いました。



支部情報

- 支部会員数 13名 (2016年1月31日現在)
- 支部長 鈴木 千鶴子
- 連絡先 bxa00745@nifty.ne.jp
- 会費
入会金 1,000円
年会費 8,000円(本部会費7,000円と支部活動費1,000円)